



# 平成31年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年10月10日

上場会社名 株式会社 エーアイティー

上場取引所 東

コード番号 9381 URL <http://www.ait-jp.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 矢倉 英一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 総合企画部・経理財務部担当 (氏名) 西村 司 TEL 06-6260-3450

四半期報告書提出予定日 平成30年10月15日 配当支払開始予定日 平成30年10月25日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成31年2月期第2四半期の連結業績(平成30年3月1日～平成30年8月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第2四半期	13,003	9.0	713	1.0	771	0.9	527	2.2
30年2月期第2四半期	11,931	17.7	706	10.3	764	9.7	516	9.9

(注) 包括利益 31年2月期第2四半期 461百万円 (0.6%) 30年2月期第2四半期 458百万円 (72.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第2四半期	27.60	
30年2月期第2四半期	27.00	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第2四半期	8,032	5,708	70.7
30年2月期	7,654	5,610	72.9

(参考) 自己資本 31年2月期第2四半期 5,682百万円 30年2月期 5,583百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期		16.00		19.00	35.00
31年2月期		18.00			
31年2月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日～平成31年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	13.5	1,550	3.5	1,610	1.4	1,150	4.5	60.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年2月期2Q	19,754,400 株	30年2月期	19,754,400 株
期末自己株式数	31年2月期2Q	640,829 株	30年2月期	640,829 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年2月期2Q	19,113,571 株	30年2月期2Q	19,113,615 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当第2四半期において、アナリスト・機関投資家向けの決算説明会は開催いたしません。決算補足説明資料については、当第2四半期決算短信開示後に、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が進む中、個人消費にも持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、海外では政治や経済における不確実性の高まりに加え、米国の貿易摩擦により、今後の世界経済に与える影響が懸念され、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況下、当社グループは、新規顧客及び既存顧客との取引拡大を図り、国際貨物輸送に通関や配送等までを加えた受注獲得に向けての営業活動を精力的に行ってまいりました。それにより一貫輸送の取扱いは、大口顧客を中心に拡大基調で推移することとなりました。さらにこれら営業活動は、当社グループが得意とするアパレルや日用雑貨を取扱う企業に留まらず、未だ取扱いの少ない業種へも拡げてまいりました。

また、前連結会計年度の下半期において、大口顧客との取引は拡大する一方で利幅が比較的薄いことや通関業務の外注増加で低下傾向にあった売上総利益率を改善させるべく、価格面の見直し等にも取り組んでまいりました。

その結果、販売費及び一般管理費の増加及び春節に伴う一時的な貨物量の減少による利益の低下要因を、一貫輸送による収益拡大や売上総利益率の改善効果により補うこととなりました。

以上のことから、当第2四半期連結累計期間における営業収益は13,003百万円（前年同期比9.0%増）、営業利益713百万円（前年同期比1.0%増）、経常利益771百万円（前年同期比0.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益527百万円（前年同期比2.2%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

#### ①日本

当第2四半期連結累計期間では、3月前半に春節の影響によって一時的に中国から日本への輸入貨物が減少することとなりましたが、一貫輸送の更なる受注拡大に向けての営業強化が奏功し、4月以降においては、海上輸送の取扱及び通関の受注は堅調に推移することとなりました。その結果、海上輸送の取扱コンテナ本数は、輸入で99,856TEU（前年同期比1.9%増）、輸出入合計で106,085TEU（前年同期比3.8%増）と前年同期を上回り、通関受注件数は3月単月の減少が響き、43,131件（前年同期比0.3%減）と前年同期とほぼ同水準でありました。

また、輸入の海上運賃を中心とし、価格及び利益の改善を図るべく価格転嫁等に取り組んだことも収益を押し上げる要因となりました。

以上のことから、日本における営業収益は10,528百万円（前年同期比6.6%増）となりましたが、セグメント利益は、主に営業原価や販売費及び一般管理費等の増加の影響から444百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

#### ②中国

中国での輸出入貨物の増加に伴い、中国国内での輸送に関連する収益機会が増えたことに加えて、人民元高もあり円貨換算額も増したことで、営業収益は2,225百万円（前年同期比10.1%増）、セグメント利益は266百万円（前年同期比13.3%増）と前年同期を上回ることとなりました。

#### ③タイ

日本向け貨物は増加基調にあります。その絶対量が少ないことから、営業収益は42百万円（前年同期比55.8%増）となり、一方で営業活動における費用が高んだ結果、セグメント損失は1百万円（前年同期はセグメント損失6百万円）となりました。

#### ④その他

米国、台湾現地法人及びベトナム合弁会社それぞれで徐々に貨物の取扱いは増してきておりますが、貨物量としてはまだ少ないことから、営業収益への貢献は僅かに留まったことで、営業収益は207百万円（前年同期は営業収益9百万円）、セグメント利益は3百万円（前年同期はセグメント損失26百万円）となりました。

(注) TEU (Twenty-foot Equivalent Unit、20フィートコンテナ換算) とは、海上コンテナの数量を表す単位で、20フィートコンテナ1個分を1TEUと計算します。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

#### (総資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ377百万円増加し8,032百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が178百万円、現金及び預金が161百万円、立替金が24百万円増加したことによるものであります。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ278百万円増加し2,323百万円となりました。これは主に、買掛金が79百万円、賞与引当金が70百万円、未払法人税等が28百万円、退職給付に係る負債が20百万円増加したことによるものであります。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ98百万円増加し5,708百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益527百万円を計上した一方で、剰余金の配当により363百万円、為替換算調整勘定が65百万円減少したことによるものであります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ161百万円増加し、4,045百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの内訳は次の通りであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は590百万円(前年同期比303百万円増)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益を770百万円計上したことのほか、仕入債務の増加98百万円、賞与引当金の増加71百万円等の資金の増加要因に対し、法人税等の支払額220百万円、売上債権の増加201百万円等の資金の減少要因によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は5百万円(前年同期は508百万円の獲得)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出135百万円、有形固定資産の取得による支出3百万円等の資金の減少要因に対し、定期預金の払戻による収入135百万円等の資金の増加要因によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は363百万円(前年同期比76百万円増)となりました。これは、配当金の支払363百万円による資金の減少要因によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成30年4月11日に公表いたしました予想数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,434,299	4,595,909
受取手形及び売掛金	1,799,606	1,978,395
立替金	954,508	978,895
その他	158,757	178,832
貸倒引当金	△19,899	△21,826
流動資産合計	7,327,273	7,710,206
固定資産		
有形固定資産	41,584	37,032
無形固定資産	52,704	64,100
投資その他の資産		
投資有価証券	2,904	2,945
差入保証金	225,532	217,784
その他	5,166	232
貸倒引当金	△238	△232
投資その他の資産合計	233,364	220,730
固定資産合計	327,652	321,863
資産合計	7,654,926	8,032,070
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,061,969	1,141,968
未払法人税等	229,140	257,471
賞与引当金	69,233	139,372
役員賞与引当金	16,800	9,500
その他	254,539	321,576
流動負債合計	1,631,682	1,869,888
固定負債		
退職給付に係る負債	268,535	288,691
役員退職慰労引当金	77,670	85,945
その他	66,955	79,075
固定負債合計	413,160	453,712
負債合計	2,044,842	2,323,600

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	271,140	271,140
資本剰余金	221,590	221,590
利益剰余金	4,920,476	5,084,860
自己株式	△68,004	△68,004
株主資本合計	5,345,203	5,509,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	27	56
繰延ヘッジ損益	-	△330
為替換算調整勘定	237,880	172,842
その他の包括利益累計額合計	237,907	172,568
非支配株主持分	26,972	26,314
純資産合計	5,610,083	5,708,469
負債純資産合計	7,654,926	8,032,070

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
営業収益		
輸送事業収入	11,931,670	13,003,180
営業収益合計	11,931,670	13,003,180
営業原価		
輸送事業仕入	9,308,024	10,259,942
営業原価合計	9,308,024	10,259,942
売上総利益	2,623,646	2,743,237
販売費及び一般管理費	1,917,148	2,029,637
営業利益	706,498	713,599
営業外収益		
受取利息	12,606	4,886
受取配当金	29	29
為替差益	28,011	29,720
その他	19,695	23,037
営業外収益合計	60,343	57,673
営業外費用		
会員権退会損	2,700	-
営業外費用合計	2,700	-
経常利益	764,141	771,273
特別損失		
固定資産除却損	107	369
特別損失合計	107	369
税金等調整前四半期純利益	764,034	770,904
法人税、住民税及び事業税	306,734	252,586
法人税等調整額	△55,237	△9,877
法人税等合計	251,496	242,709
四半期純利益	512,537	528,194
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,545	653
親会社株主に帰属する四半期純利益	516,083	527,541



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
四半期純利益	512,537	528,194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15	28
繰延ヘッジ損益	179	△330
為替換算調整勘定	△53,983	△66,348
その他の包括利益合計	△53,818	△66,650
四半期包括利益	458,718	461,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	464,511	462,201
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,792	△657

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	764,034	770,904
減価償却費	17,933	17,077
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,508	2,144
賞与引当金の増減額(△は減少)	53,221	71,491
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,200	△7,300
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,335	20,156
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,552	8,275
受取利息及び受取配当金	△12,636	△4,916
為替差損益(△は益)	△3,876	△3,594
有形固定資産除却損	107	369
預り金の増減額(△は減少)	△17,337	26,094
売上債権の増減額(△は増加)	△350,658	△201,886
立替金の増減額(△は増加)	△246,039	△24,391
仕入債務の増減額(△は減少)	264,126	98,307
その他	△41,164	33,539
小計	449,907	806,271
利息及び配当金の受取額	12,718	4,870
法人税等の支払額	△175,365	△220,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	287,260	590,605
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△623,300	△135,400
定期預金の払戻による収入	1,119,000	135,400
有形固定資産の取得による支出	△6,676	△3,569
無形固定資産の取得による支出	△6,097	△486
連結子会社設立に伴う非支配株主からの払込による収入	28,751	-
差入保証金の差入による支出	△5,802	△2,468
差入保証金の回収による収入	462	1,209
その他	2,000	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	508,336	△5,315
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△20	-
配当金の支払額	△286,710	△363,508
財務活動によるキャッシュ・フロー	△286,731	△363,508
現金及び現金同等物に係る換算差額	△30,611	△60,172
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	478,254	161,609
現金及び現金同等物の期首残高	3,191,010	3,884,299
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,669,265	4,045,909

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年3月1日至平成29年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	タイ	計				
営業収益								
(1) 外部顧客に対する 営業収益	9,873,416	2,021,970	27,065	11,922,453	9,217	11,931,670	—	11,931,670
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	44,720	1,097,343	23,860	1,165,923	28,309	1,194,233	△1,194,233	—
計	9,918,137	3,119,314	50,925	13,088,376	37,527	13,125,903	△1,194,233	11,931,670
セグメント利益 又は損失 (△)	504,652	235,212	△6,717	733,148	△26,650	706,498	—	706,498

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国、台湾及びベトナムの現地法人です。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年3月1日至平成30年8月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	中国 (注) 1	タイ	計				
営業収益								
(1) 外部顧客に対する 営業収益	10,528,063	2,225,331	42,164	12,795,559	207,621	13,003,180	—	13,003,180
(2) セグメント間の 内部営業収益 又は振替高	108,429	1,149,244	15,089	1,272,764	133,456	1,406,221	△1,406,221	—
計	10,636,493	3,374,576	57,253	14,068,323	341,078	14,409,401	△1,406,221	13,003,180
セグメント利益 又は損失 (△)	444,747	266,603	△1,269	710,080	3,519	713,599	—	713,599

(注) 1. 「中国」の区分は、中国及び香港の現地法人です。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国、台湾及びベトナムの現地法人です。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

株式交換契約の締結について

当社は、平成30年10月10日開催の取締役会にて、当社を株式交換完全親会社、日新運輸株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、両社間で株式交換契約を締結いたしました。

詳細につきましては、本日公表いたしました「日新運輸株式会社との株式交換契約締結及び孫会社の異動に関するお知らせ」をご参照ください。